

Suzuki カプチーノEA11R High-Performance Coil Direct Ignition Kit 取り付け説明書

商品内容

- | | |
|--|--|
| ☐ 専用イグニッションコイル(TM03101) x 3 | ☐ コントロールユニット(CPT018) x 1 |
| ☐ 専用ディスビキャップ(HPD133) x 1 | ☐ 擬似点火ユニット(HPD107-K9) x 1 |
| ☐ 専用ローター(HPD134) x 1 | ☐ 専用コイルハーネス(FDI033H) x 1 |
| ☐ F6A点火信号ハーネス(HPD107-K10) x 1 | ☐ 電源ハーネス(DP024) x 1 |
| ☐ F6A電源取り出しハーネス(HPD107-K11) x 1 | ☐ スルーコネクター(VH1028) x 1 |
| ☐ M6X10フランジボルト x1 | ☐ M5フランジナット x1 |
| ☐ M5X10フランジボルト x8 | ☐ M6X40フランジボルト x1 |
| ☐ VSDステーセット x1 | ☐ F6Aコイルベースプレート(HPD132) x 1 |

1、整備書に従い既定の点火時期に調整をしてください。



2、ハイテンションコードカバー、ハイテンションコード・ディスビキャップ・ローターを外してください。



シャフトがサビてローターが抜けなかったり、入らない場合には、紙やすり等で磨いてください。絶対に無理に抜き差ししないでください。

3、専用ディスビローター（HPD134）を取り付けてください。

No,2



4、専用ディスビキャップ（HPD133）を取り付けてください。



5、配管類を固定しているステーを一旦外してください。

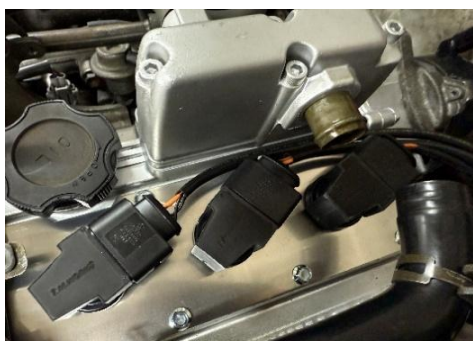


6、コイルベースプレートを取付けてください。



ベースプレートを載せた後5で一旦外したステーを外したM5ボルト使用して固定してください。

7、イグニッションコイルを一旦仮に差し込み、コイルハーネス（FDI033H）のコイルコネクターをカチッと音がする位置まで差し込んでから、イグニッションコイルをしっかりと上から抑えスパークプラグに確実に入った事を確認してください。



T.M.WORKS

イグニッションコイルが指定位置に入っていないと、走行中イグニッションコイルが抜ける恐れがあり失火やエンジン停止などの原因となりますので確実に行ってください。

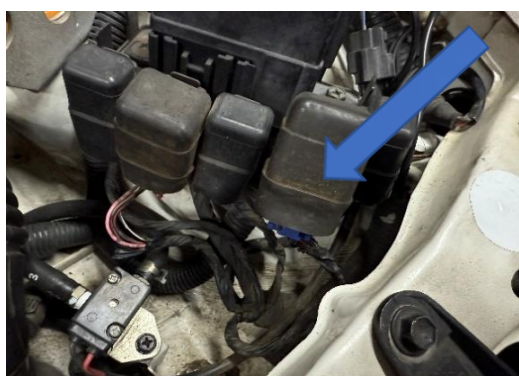
No,3



8、イグニッションコイルのコネクターを外し、点火信号ハーネス（HPD107-K10）を割り込ませてください。



9、F6A電源取り出しハーネス(HPD107-K11)を矢印位置のリレーコネクターを外して割り込ませてください。



HPD107-K11



10、疑似点火ユニット(HPD107-K9)と点火信号ハーネスの黒コネクターを接続してください。



HPD107-K9



8～11の作業をした配線類は、バッテリーとバルクヘッドの間を通してください。
絶対に排気マニホールド側は通さないでください。

11、疑似点火ユニットからのギボシ（白線）をF6A電源取り出しハーネス(HPD107-K11)からの白線と接続してください。

その後、疑似点火ユニットからのプラグコードをしっかりと差し込んでください。



12、疑似点火ユニットをM6X40ボルトを通し、ボディ横のアース部分に共締め固定してください。



13、コントロールユニットからの黒線とコイルハーネスからの黒線と疑似点火ユニットからの黒線の3点をバッテリーマイナスターミナルに共締めしてください。



14、ヒューズ付き電源ハーネス（DP024）の赤線をバッテリーのプラスターミナルに接続し、



15、コントロールユニット（CPT018）からのコネクターに各ハーネスを接続してください。

No.5



16、VSDステーセットを画像の様に組み立ててください。



17、コントロールユニットの写真位置に付属の両面テープを**2枚重ね**にして16で組立てたステーに貼り付けてください。



18、バッテリーブラケットに付属のM5フランジナットを使用しコントロールユニットを固定してください。



19、ハーネスはたるみの無いように付属のタイラップで固定してください。

No,6

**コントロールユニットからのハーネス類が、電動ファンなどの可動部や排気マニホールドに
触らない様に必ず付属のタイラップにて固定してください。**



20、エンジンを始動し、異常のないことを確認して作業完了です。



コントロールユニットLED

キーON : 点滅

エンジン始動後 : 点灯

T.M.WORKS



重要注意事項

エンスト時などのエンジン再始動の場合には、ACCでは無く必ず



キーOFFにしてから再始動してください。（これを守らないとエンジンが掛かりません）

ピックアップに使用している磁石は、高熱に対応していないため



排気マニホールドがディスビと隣接している車両は遮熱版を取り付けてください。

ピックアップの反応が悪くなるとエンジン始動が困難となりますので



特にご注意ください。



ピックアップ用磁石は単品での販売がございますのでお問い合わせください。



本製品取り付け時には必ずスパークプラグも新品に同時交換してください。

取り外した部品は、ノーマルに戻す際に必要となりますので大切に保管してください。



ヘッドライトをH4バルブなどからLEDバルブに変更している場合、LEDからのノイズによる気筒判定機能の喪失が発生し、エンジンが止まってしまったり始動出来ないなどの事例が発生しております。

この場合には、コントロールユニットのオレンジ線やライトの配線にフェライトコアの装着やシールド線を撒くなど対処してください。

エンジン始動中や走行中やこの他ノイズの出る要因がありますと気筒の判定が出来なくなりミスファイヤが発生したり、エンジンがストールする事がありますのでご承知おきください。

T.M.WORKS